新発売

つばき
オーキャリー® ユニット

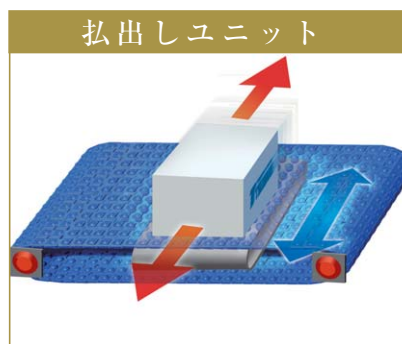
PAT.

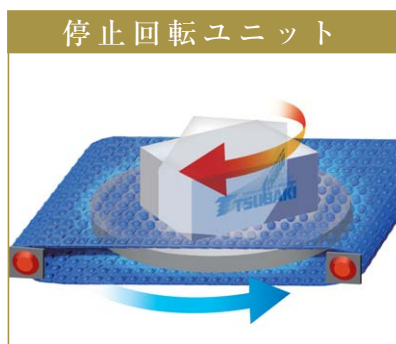
シンプルでコンパクトな

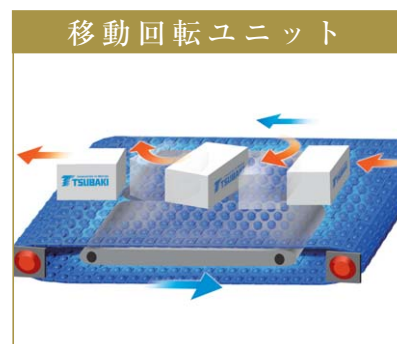
Features

多彩なハンドリング機能をもった３つのコンベヤユニットを発売！

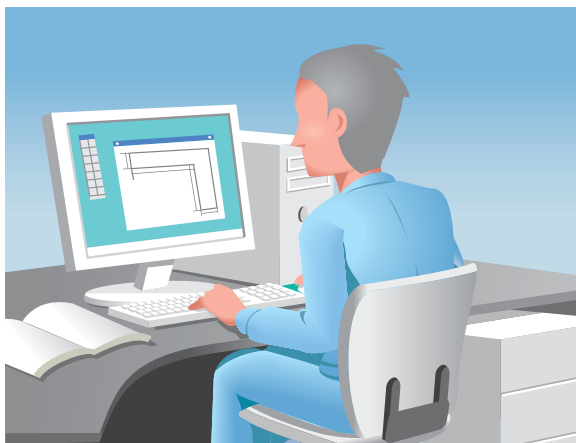
ボール付チェーンの下にベルトコンベヤや回転テーブルを組込み稼働させることで、搬送以外に払出し、回転、方向転換が外付け装置無しで実現できます。多彩なコンベヤユニットが新たな可能性を拓きます。

払出しユニット

ベルトコンベヤが直交して装着されています。ベルトコンベヤの動作により搬送物を左右に払出すことができます。

停止回転ユニット

回転テーブルが装着されています。チェーンを一担止めたのち、回転テーブルを動作することにより搬送物を回転できます。

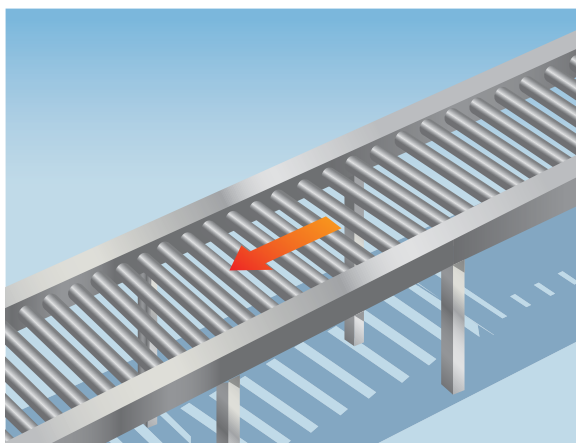
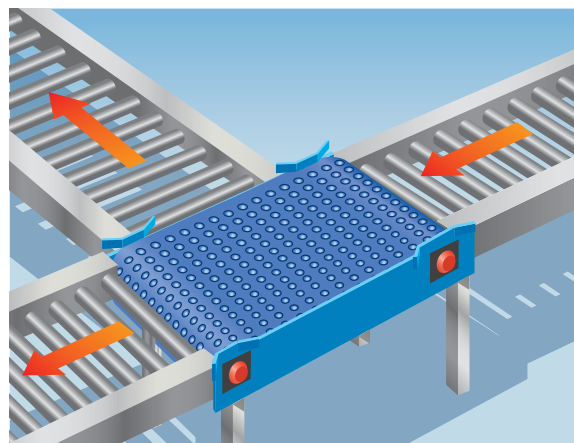
移動回転ユニット

ベルトコンベヤが2列で装着されています。チェーンを止めることなく2列のベルトコンベヤを動作すれば搬送物を流しながら回転することができます。

Point 1「設計工数を低減」

標準化されたコンベヤユニットをレイアウトに組込むだけでOK!
設計者の工数を大幅に低減できます。

※写真のベアリングユニットはオプション品です。

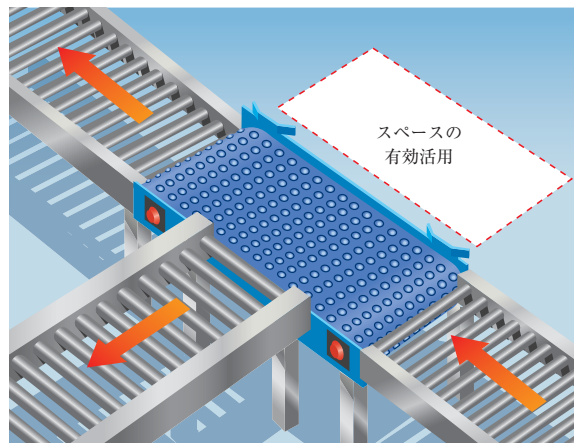
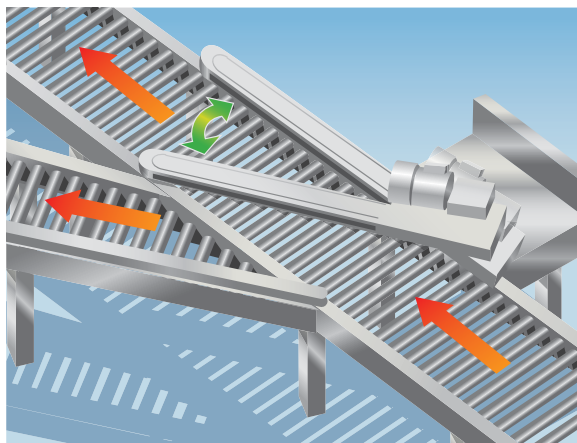
標準化されたオーキャリーユニット

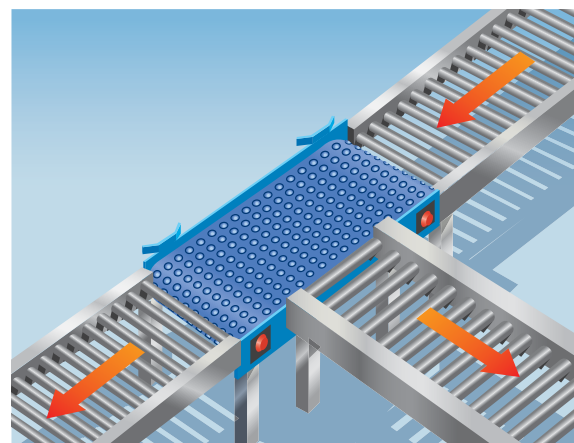
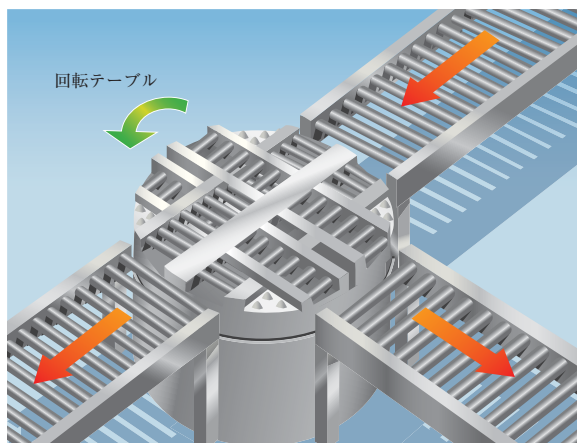
Point 2「簡単にレイアウト替え」

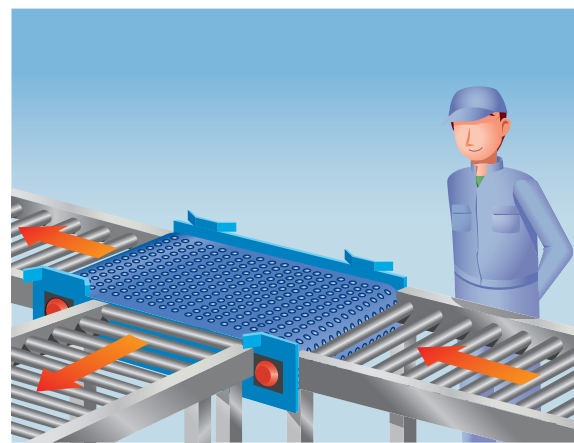
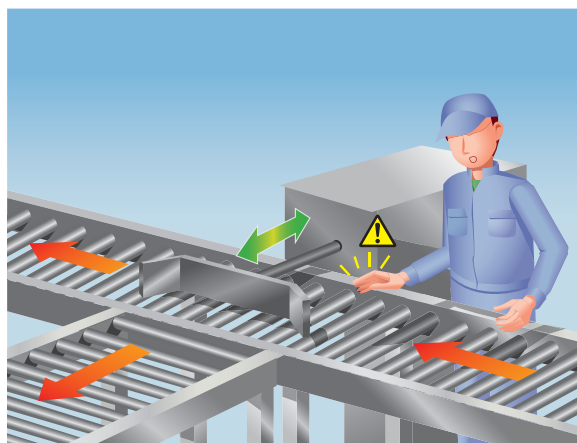
コンパクトなユニットなので、どこにでも設置可能。
既存のコンベヤのレイアウト変更も簡単です。

現状

オーキャリーユニット導入

3つのユニットを標準化！

Point 3「外付け装置が不要となり、省スペース化を実現」

プッシャーやダイバータなどの外付け装置が不要となり
工場内のスペースをより有効に活用できます。

Point 4「スピーディな払出し」

回転テーブルや昇降装置などの方向転換には時間がかかります。
オーキャリーユニットのスムーズな払出しにより時間ロスが無くなります。

Point 5「高い安全性」

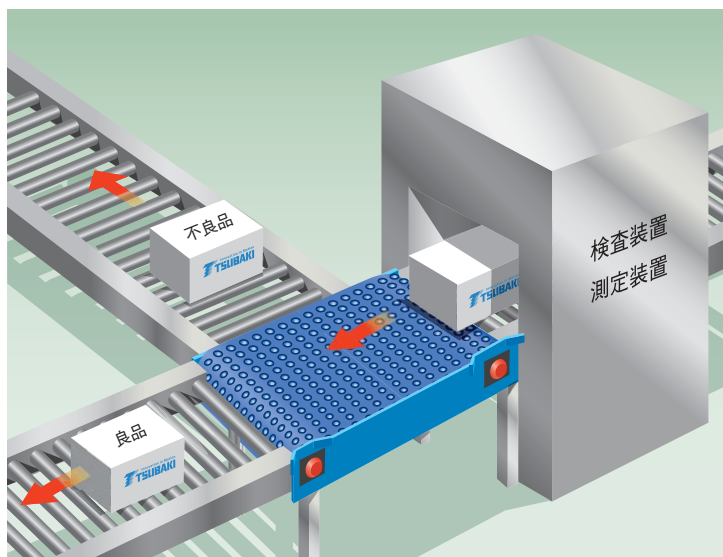
プッシャーなどで指を挟んだり、
昇降装置に巻き込まれたりする心配がありません。

用途に応じて様々なハンドリングが可

Applications

不良品の払出し

金属検知器やウエイト検出装置により判定された、ケース内の異物混入及び入り数過不足の不良品の払出しなどに適しています。

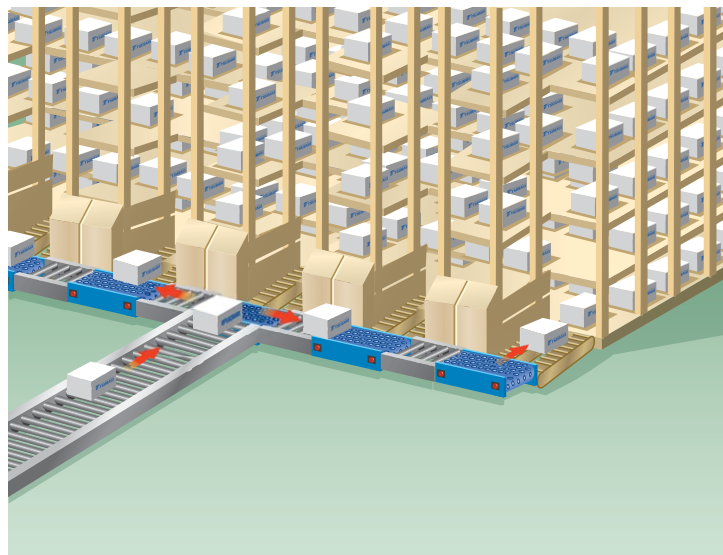
検査装置

測定装置

不良品の払出し

仕分け・振分け

物流センターなどの自動立体倉庫に製品を仕分ける工程に使用できます。

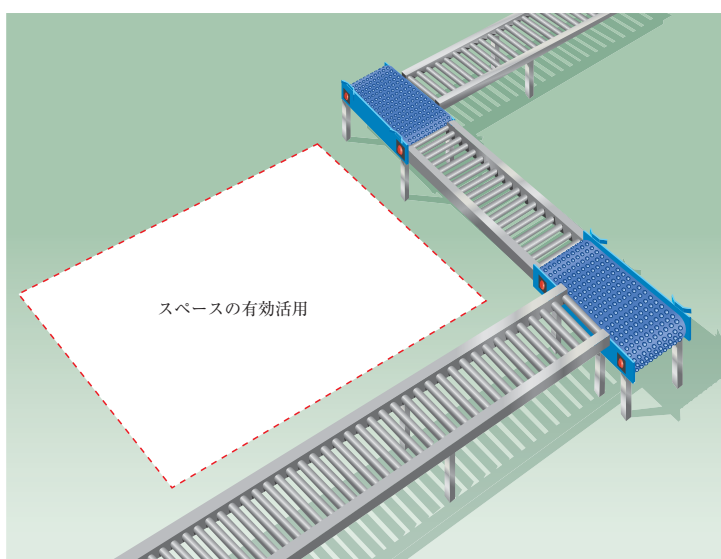
物流センター

自動倉庫

自動倉庫出入口の仕分け

スペースセービング

カーブコンベヤが専有していた場所を有効活用したい時などに最適です。

カーブコンベヤ

従来:カーブコンベヤ

オーキャリーユニット導入後

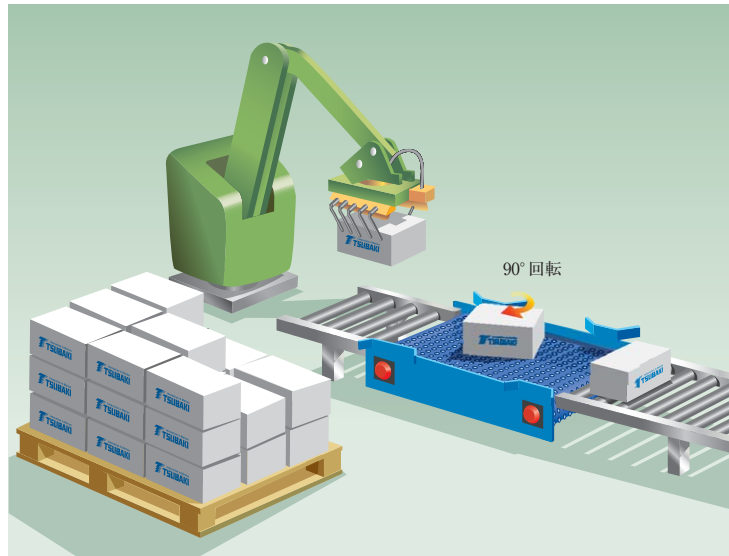
搬送物例　段ボール箱、段ボールシート、プラケース、精米ポリ袋、ビール缶カートンケース、

能！オーキャリーユニットで問題解決

方向転換

ロボットによるパレット積みの際、搬送物を掴む方向に揃える場合などに最適です。

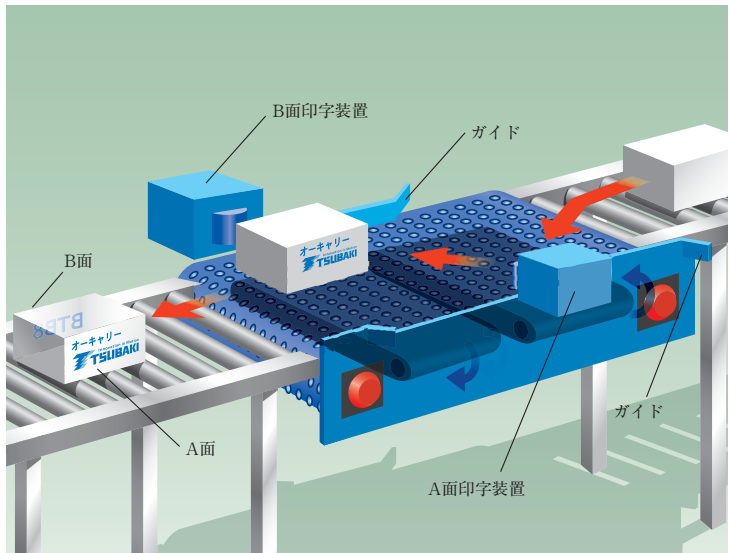
パレット積み

ケーサー

幅寄せ

段ボール箱への印字、ラベル貼りやバーコードの読取りなど、片面基準で幅寄せさせれば可能です。（但し、ガイドの設置が必要）

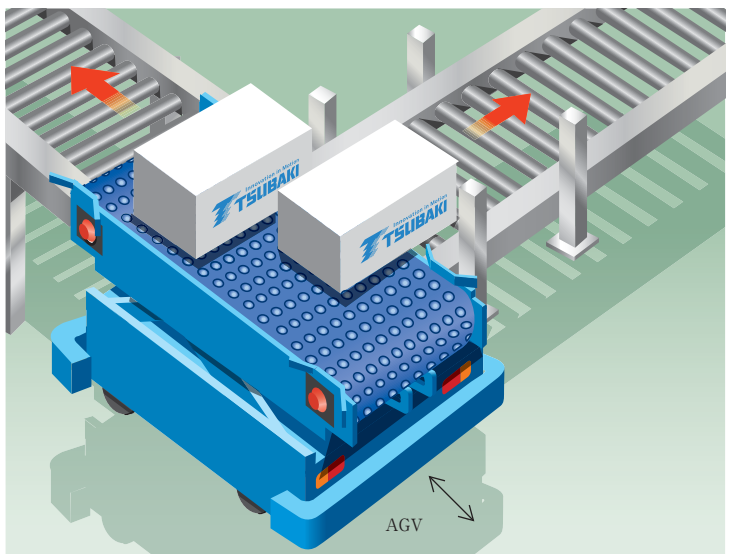
印字

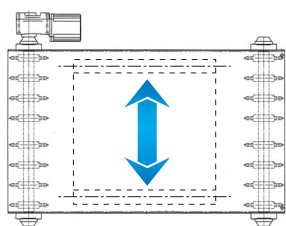
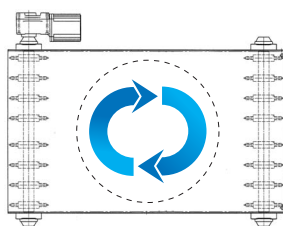
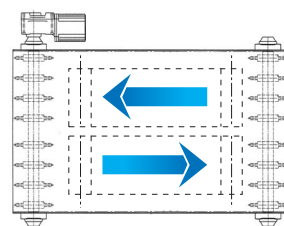
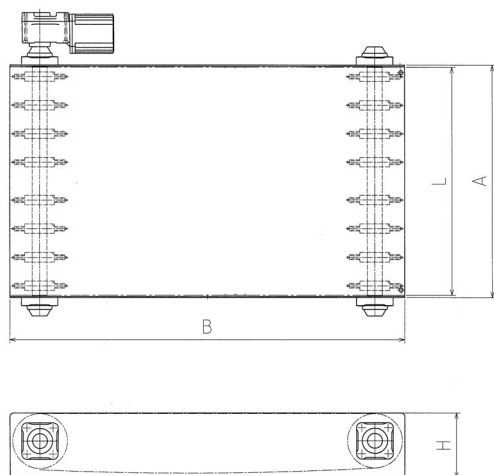
ラベル貼り

バーコード読み取り

AGVへの搭載

AGVに装着されたリフターにオーキャリーユニットを搭載すれば高さの異なるコンベヤへの振分けができます。昇降装置に搭載すれば多段階での振分けも可能に。AGVの横行機能（カニ歩き）は不要になります。

リフター・昇降装置

AGV

食パン、etc.　その他の搬送物についても、まずはお気軽にご相談ください。

補助装置の動き

A:払出しユニット　B:停止回転ユニット　C:移動回転ユニット

基準寸法

A 払出しユニット　単位:mm

機幅 A	チェーン幅 L	機長 B	機高 H	(参考)段ボール底サイズ
315	304.8	850	200	~250×200
390	381.0			~330×250
470	457.2	1050		~400×300
545	533.4			~480×350
620	609.6			~560×450

B 停止回転ユニット　単位:mm

機幅 A	チェーン幅 L	機長 B	機高 H	(参考)段ボール底サイズ
390	381.0	850	250	~240×190
470	457.2			~310×220
545	533.4	1050		~370×270
620	609.6			~450×310

C 移動回転ユニット　単位:mm

機幅 A	チェーン幅 L	機長 B	機高 H	(参考)段ボール底サイズ
470	457.2	1050	200	~270×185
620	609.6			~390×290

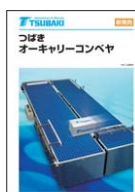
形番

CVA − 545 − 1050 − A (− TK)

- CVA：オーキャリーコンベヤの略式記号
- 545：コンベヤ機幅 545mm
- 1050：コンベヤ機長 1050mm
- A：A:払出しユニット／B:停止回転ユニット／C:移動回転ユニット
- TK：オプション

- ●基準ユニットは機械本体のみです(脚は付いていません)。
- ●制御、インバータも含まれていません。
- ●オプション対応:脚付・キャスター付・塗装色特・フレーム材質特等
- ●基準寸法以外の機長、機幅も対応可能です。
- ●ブレーキ付、単相100V対応も可能です。

仕様

	A:払出しユニット	B:停止回転ユニット	C:移動回転ユニット
搬送物質量	最大30kg／個		
搬送物速度	30m/min(60HZ　200V)　※チェーン速度は15m/minとなります。		
機能別能力	払出し速度:30m/min	旋回速度:16rpm	4m/min≦ベルト速度≦30m/min
モーター電源	三相200V　ブレーキ無　※樹脂製端子箱付		
フレーム材質	塗装スチール製　※塗装色:DIC640(ブルー)		

複数の機能を搭載したオーキャリーコンベヤも販売しています。
別冊カタログをご覧ください。

※弊社ホームページにオーキャリーコンベヤの動画を掲載しておりますので、そちらもご参照ください。

http://www.tsubakimoto.jp/product/detail.html?code=340_3_1_1_1

安全にご使用いただくために

警　告　危険防止のため、下記の事項に従ってください。

【一般事項】

●チェーンおよびチェーン用アクセサリは、本来の用途以外には使用しないでください。
●製品への追加工（機械加工、グラインダ加工、焼きなまし、酸洗浄、アルカリ洗浄、電気メッキ、熱影響のある溶接、溶断等）は絶対に行わないでください。
　稼働中に製品の切断により、重傷を負うおそれがあります。
●損耗（破損）した箇所の取替えは損耗（破損）部分のみの取替えではなく、全てを新品に取替えてください。（但し、ボール付BTBチェーンは、部分のみの取替えが可能です。）稼働中に製品の切断により、重傷を負うおそれがあります。
●製品を吊下げ装置に使用する場合は安全柵等を設け、吊り下げ物の下部へは絶対立ち入らないでください。また製品端部を金具や治具に連結する場合は連結部に充分な給油を行ってください。
　製品の固定外れ、または思わぬ製品の切断により製品や吊下げ物で重傷を負うおそれがあります。
●労働安全衛生規則第２編第１章第１節一般基準を遵守し、チェーン及びスプロケットには必ず危険防止具（安全カバー等）を取付けてください。
　捲込み、または思わぬ製品の切断により、製品、搬送物で重傷を負うおそれがあります。
●チェーン、スプロケットは必ず定期点検を実施し、損傷や寿命に達した製品は新品とお取替えください。
　機能を果たさないだけでなく、切断や異常な動きで重傷を負うおそれがあります。
　作業については取扱説明書、カタログまたはお客様に対して特別に提出された文書に従ってください。

【据付け時】

●事前に必ず装置の電源を切り、また不慮の装置にスイッチが入らないようにしてください。
　捲込みにより、重傷を負うおそれがあります。
●連結時のハンマー作業では安全眼鏡を着用ください。
　破片の飛散により、重傷を負うおそれがあります。
●製品が自由に動かないよう固定してください。
　製品が自重により自走したり、倒れてからだを挟まれ重傷を負うおそれがあります。

注　意　事故防止のため、下記の事項を守ってください。

●チェーンおよび各パーツの構造、仕様を理解したうえで取扱ってください。
●チェーンおよび各パーツを据付ける際には、事前に輸送時の破損がないか検査してください。
●チェーン、スプロケットおよび各パーツは必ず定期的に保守点検をしてください。
●チェーンの強度はメーカによって異なります。当社カタログによって選定された場合には、必ず当社製品をご使用ください。
●チェーンは緩起動、緩停止を行い、衝撃を与えないでください。
●チェーンには初期張力を与えないでください。
●本チェーンはドライ（潤滑なし、水の付着なし）専用です。ウェット（水、石鹸水などがかかる湿潤状態）な状態では機能上不具合を発生することがあるため、使用しないでください。
●チェーンに水がかかる雰囲気では使用しないでください。

保　証

1. 無償保証期間

工場出荷後18ヶ月間または使用開始後（お客様の装置への当社製品の組込み完了時から起算します）12ヶ月間のいずれか短い方をもって、当社の無償による保証期間と致します。但し、条件によっては有償となる場合があります。

2. 保証範囲

無償保証期間中に、お客様側にて、カタログ、取扱説明書等に準拠する正しい据付・使用方法・保守管理が行われていた場合において、当社製品に不具合が発生し、当社がこれを確認した場合は、速やかに当社製品または部品を無償で納入もしくは修理させていただきます。但し、無償保証の対象は、お納めした製品についてのみとし、以下の費用は保証範囲外とさせて頂きます。（取扱説明書等にはお客様に対して特別に提出された文書を含みます。）

(1) お客様の装置から当社製品を交換または修理のために取り外したり取り付けたりするために要する費用およびこれらに付帯する工事費用。
(2) お客様の装置を修理工場などへ輸送するために要する費用。
(3) 不具合や修理に伴うお客様の逸失利益ならびにその他の拡大損害額。

3. 有償保証

無償保証期間にもかかわらず、以下の項目が原因で当社製品に不具合が発生しました場合は、有償にて調査、修理、製作を承ります。

(1) お客様が、カタログ、取扱説明書等通りに当社製品を正しく配置・据付（切継ぎを含む）・潤滑・保守管理されなかった場合。（取扱説明書等にはお客様に対して特別に提出された文書を含みます。）
(2) お客様が、カタログ、取扱説明書等に従わない使用方法（使用条件・使用環境・許容値を含む）でご使用された場合。（取扱説明書等にはお客様に対して特別に提出された文書を含みます。）
(3) お客様が不適切に分解、改造または加工された場合。
(4) お客様が、当社製品を損傷・摩耗した他製品と使用された場合。（例：チェーンを摩耗したままのスプロケット・ドラム・レール等と使用された場合。）
(5) ご使用条件での、当社による選定上の寿命が本保証寿命を満たさない場合。
(6) お客様が、打合せ内容と異なる条件でご使用された場合。
(7) 当社製品に組込んだベアリング・オイルシール・油などの消耗部品が、消耗・摩耗・劣化した場合。
(8) お客様の装置の不具合が原因で、当社製品に二次的に不具合が発生した場合。
(9) 災害等の不可抗力によって当社製品に不具合が発生した場合。
(10) 第三者の不法行為によって当社製品に不具合が発生した場合。
(11) その他当社の責任以外で不具合が発生した場合。

株式会社 椿本チエイン

カタログ全般に関するお問合せは、お客様サービスセンター（CSセンター）をご利用ください。

チェーン CSセンター	TEL(0088)25-1180 FAX(0088)25-1190

事業所	住所	TEL	FAX
東京支社	〒141-0032 東京都品川区大崎1-2-2（アートヴィレッジ大崎セントラルタワー）	TEL(03)5435-0025	FAX(03)5435-6337
仙台営業所	〒980-0022 仙台市青葉区五橋1-4-30（五橋ビジネスセンタービル）	TEL(022)267-0165	FAX(022)267-0150
大宮営業所	〒330-0846 さいたま市大宮区大門町3-42-5（太陽生命大宮ビル）	TEL(048)648-1700	FAX(048)648-2020
横浜営業所	〒221-0844 横浜市神奈川区沢渡1-2（高島台第3ビル）	TEL(045)311-7321	FAX(045)311-7320
静岡営業所	〒420-0852 静岡市葵区紺屋町11-4（太陽生命ビル）	TEL(054)272-6200	FAX(054)272-6211
名古屋支社	〒450-0003 名古屋市中村区名駅南1-21-19（本州名駅ビル）	TEL(052)571-8183	FAX(052)571-0915
大阪支社	〒530-0005 大阪市北区中之島3-3-3（中之島三井ビルディング）	TEL(06)6441-0309	FAX(06)6441-0314
北陸営業所	〒920-0918 金沢市尾山町3-10（金沢南町ビル）	TEL(076)232-0115	FAX(076)232-3178
四国出張所	〒760-0062 高松市塩上町3-2-4（中村第一ビル）	TEL(087)837-6301	FAX(087)837-9660
広島営業所	〒732-0052 広島市東区光町1-12-20（もみじ広島光町ビル）	TEL(082)568-0808	FAX(082)568-0814
九州営業所	〒812-0013 福岡市博多区博多駅東3-12-24（ジブラルタ生命博多駅東ビル）	TEL(092)451-8881	FAX(092)451-8882
株式会社 北海道椿本チエイン	〒060-0031 札幌市中央区北一条東8-9（湯谷ビル）	TEL(011)261-6501	FAX(011)251-6214

本　社　〒530-0005 大阪市北区中之島3-3-3（中之島三井ビルディング）
工　場　京田辺・埼玉・京都・兵庫

■お願い

このカタログに記載の仕様・寸法等は改良のため変更する場合がありますので、設計される前に念のためお問合せください。

販売店

このカタログはSI単位{重力単位}で記載しています。
{　　}値は参考値です。

2009年6月1日発行　© 株式会社椿本チエイン　Bulletin No.09158